

## 第5回TIAナノグリーン・サマースクール開催報告



神原貴樹 教授  
筑波大学数理工学系

環境・エネルギー分野のイノベーション、いわゆるグリーンイノベーションに貢献する人材を育成するための教育プログラムとして、本年もナノグリーン・サマースクールが8月29日から31日の日程で開催されました。実施・運営を行った神原貴樹教授(筑波大学数理工学系)にお話を伺いました。

ナノグリーン・サマースクールも本年度で5回目の開催となりました。昨年度に引き続き、3日間の日程で密度の高いプログラムを組みました。対象者は環境・エネルギー分野の研究に興味を持つ大学院生及び社会人です。事前申込者は21名(外国人留学生5名、社会人大学院生1名を含む)で、筑波大学以外にも他大学から3名の参加者がありました。また、当日の講義のみの聴講も1名の参加がありました。今後もつくば地区以外の学生に旅費等をサポートすることで、幅広い研究交流の場を確保していきたいと考えます。

本サマースクールのプログラムの根幹は、ナノグリーンに関する基礎から先端研究までを含む講義です。スクール参加者は2日間にわたり、今回のテーマであった有機デバイス(太陽電池、有機EL素子)、触媒・先端材料(光触媒、ナノカーボン)、先端計測(放射光X線、高輝度X線、電子顕微鏡)についての講義を受講しました。

講義風景



もう一つの重要なプログラムはTIANANOエレクトロニクス・サマースクールとの合同ポスターセッションです。初日の午後、全員によるショートプレゼンテーションの後、開始されました。このポスタープレゼンテーションでは自分の研究発表に加えて、「他の発表者の研究を理解し、自由な発想で融合テーマを考え、レポートにまとめる」ことを趣旨とした課題が出されていたこともあり、

学生相互並びに企業・教員アドバイザーと活発で深い討論が行われました。引き続き、夕方には合同交流会が開かれました。こちらも極めて重要な意味を持ちます。セッション時に交わした学術的な討論に加えて、自己紹介や企業アドバイザーからの提言など、リラックスした中でのスクール生の相互理解・交流から新展開が期待されるからです。

### ナノエレクトロニクス・ナノテクノロジー/ナノグリーン合同ポスターセッション



合同交流会では受講生自己紹介の時間を設けた

修了式: 奨励賞受賞



2日目の講義の後、修了式が行われ、スクール生全員に修了証が授与されました。今回も、ポスター発表並びにレポートなどで優秀と認められた4名の学生を表彰(奨励賞)しました。3日目には物質・材料研究機構(NIMS)の施設見学が行われましたが、都合により参加できない学生もいたようです。今後、より充実したサマースクールになるように検討したいと考えます。

開催日	2017年8月29日(火)～8月31日(木)
会場	筑波大学総合研究棟B
主催	筑波大学大学院数理工学系研究科、筑波大学学際物質科学研究センター (TIMS)
共催	物質・材料研究機構 (NIMS)
構成	講義7コマ+ポスターセッション(レポート提出)+施設(NIMS)見学
参加者数	22名(大学院生21名※内他大学3名、学部生1名) ※内単位取得希望者: 15名
修了証	19名に授与
表彰者	ポスター奨励賞4名

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <https://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学 TIA推進室

〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 Tel. 029-853-4028 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp